



女性をターゲットにした販売促進特集

せいえい
三つ星
リポート
☆☆☆

“キラリ”と輝く経営事例

Part
1

笑顔でゲストを迎えてくれる姉妹。左が妹の西濱萌根さん、右が姉の西濱愛乃さん

ホステル ニニルーム
HOSTEL NINIROOM

経営者：西濱 愛乃 氏 営業所：京都府京都市左京区東丸太町 30-3
西濱 萌根 氏 従業員：9名（うちアルバイト7名）
創業：平成29年6月 電話：075-761-2556



多くの観光客で賑わう京都市。その中心部から少し離れた静かで落ち着いた場所にあるのが、築40年3階建てのビルをリノベーションしてOPENした「HOSTEL NINIROOM」。合計16室あるゲストルームは、部屋ごとにそれぞれ異なるレイアウトやデザインなどをほどこし、何度訪れても違ったスタイルの部屋を楽しむことができます。また、1階はモダンな雰囲気のレストラン兼カフェラウンジとなっており、宿泊客以外の方も利用できるようにしています。

このホステルを創業したのは、大阪府出身の姉妹。創業する前、姉の西濱愛乃さんは、デザイナーとして外資系設計事務所で勤務し、妹の西濱萌根さ

☆☆☆
「友達の部屋」がコンセプトのホステル



アーチ形の入り口やカラフルなカーテンのドミトリールーム

んは、国内電気メーカーで商品プロモーションに携わるなど、それぞれ異なるキャリアを重ねていました。充実した日々の中にも、何か新しいことに挑戦していきたいと考えていたところ、建築家である父親から「長年空き家となっている京都の古いビルをホテルとして再生できないか」との相談を受けたことをきっかけに、姉妹で新しい夢に挑戦することを決意したそうです。



右：女性客に好評なバスルーム
中：ピンクがテーマカラーの3階客室フロア
左：2段ベッドが遊び心をくすぐるツインルーム



そんな姉妹が目指しているのは、「友達の部屋」に泊まるような楽しさとくつろぎを提供できるホステル。2人は、「友達の住む町に遊びに行くと、有名な場所を巡るだけではなく、その町の日常に参加することができて、自分もその町に住んでいるような体験ができると思います。それが私たちにとっての理想の「旅」であり、気心の知れた友達に会いに来たような体験を多くの方に提供したいと考え、このホステルのコンセプトを「友達の部屋」としています」と話します。

★★★ 女性が魅了される理由とは

このようなコンセプトを持つ「HOSTEL NINIRoom」には、多くの女性客が訪れます。では、女性客はどのようなところに魅力を感じているのでしょうか。

まずは、オシャレな雰囲気が挙げられます。ゲストルームごとに異なる内装や家具などの

京都で過ごす時間を特別な体験に！

～姉妹でつくる「友達の部屋」のようなホステル～

コфейネートは、デザイナーとして実績を積んだ姉の愛乃さんが手がけており、随所にデザイナー性の高さや工夫が感じられる、思わず写真を撮りたくなる雰囲気にあふれています。ゲストルームのほか、ネコ足のバスタブを設置した浴室や女性専用の共同シャワー・トイレ、姉妹が自分たちで壁にタイルを貼った可愛らしい洗面スペースなど、女性客に好評とのこと。

また、「HOSTEL NINIRoom」では、屋上の芝生で行う「朝ヨガ教室」やTシャツやトートバックなどに自分で選んだ絵柄をプリントすることができ、ワークショップ、和菓子の専門家とプロのコーヒー職人を招いて和菓子とコーヒーの組み合わせを提案する「和菓子×コーヒーペアリングナイト」など、様々なイベントを次々に開催しており、こうした取り組みも女性客に人気の理由となっています。

これらのイベントは、宿泊客以外の方も参加できるようにし

ており、参加する方が宿泊するきっかけにもなっているそうです。さらに、SNSを活用した周知は、ホステルの認知度向上にもつながっており、妹の萌根さんは、「SNSを使ってホステルの日々の様子やイベントの周知などを行うことで、私たちがやっていることに共感してもらい、ホステルに来られる女性客も増えてきており、その効果は高いと思います」と話します。

★★★ これからの「NINIRoom」

コンセプトに沿ったデザインやイベントなどで、ファンを増やし続けている「HOSTEL NINIRoom」。「これからもイベントの開催などを通じて、京都で過ごす時間を「特別な体験」として提供していきたいです。それに向けて、私たちだけでは実現できないことも多いので、地域にある飲食店など、他業種の方とのネットワークを広げていき、ゲストの方がより楽しめるホステルになれば嬉しいですね」と笑顔で語る愛乃さんと萌根さん。

これからも、姉妹が2人でつくる「友達の部屋」のようなホステルから目が離せません。